

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	受託発掘調査報告書刊行事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	過去に受託して発掘調査が終了し、報告書が未刊行の遺跡	意図	受託した発掘調査を報告書として刊行することによって、契約関係を清算・完了することができ、報告書を刊行・公開することによって、遺跡を記録保存することができる。
事業内容	発掘調査が終了した遺跡の記録写真や図面、出土遺物の整理作業を進め、発見された遺跡の情報を研究し、調査成果をまとめて報告書を執筆・刊行する。			
事業開始から現在までの状況変化	開発行為が活発だった昭和56年以降は、発掘調査件数が急増したため、現場の調査優先となり、整理作業が後回しとなった調査例が多数ある。現在は、民間調査会社が発掘調査を実施する方向にあり、市直営で大規模な民間開発原因の発掘調査を実施する機会は減少したが、民間発掘会社の監理・支援、機構改革によって、過去受託した発掘調査の整理作業・報告書作成が滞り、多数の事業未完了、未精算の発掘調査がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整理作業終了出土遺物	20	20	10	箱	→→	
②	受託調査報告書刊行数	1	0	0	件	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成28年度実施作業 ・宮本遺跡の接合・復元・図面デジタル化作業		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,682,442	4,718,975	4,059,425				
事業費(b)(円)		2,052,098	1,700,516	1,700,790				
うち一般財源		2,052,098	1,700,516	1,700,790				
職員給与費(c)(円)		4,630,344	3,018,459	2,358,635				
人役・職員(人)		0.40	0.20	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		1.69	1.96	2.01				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	受託報告書の刊行。	③取組の課題	刊行計画の方針を検討する
②今年度(H29)に実施した取組	発掘調査事業、文化財調査等の業務と重なり刊行できなかった。	④今後(H30以降)の改善計画	受託した遺跡発掘調査報告書を効率的に適正に刊行できるように、事業計画を見直す。